

第12回市民検討会では、「本年12月末までに、パターンに関する議論を尽くし、より具体的な検討は、次期市民検討会委員に委ねる。」事を確認しました。

今後パターンを絞り込むためには、各パターンを評価する必要がありますが、その際に必要な視点について、グループワークを行っていただきます。

グループワークの検討内容について

- ・評価の視点として、前半で説明した事業費など、「実現可能性」も重要な視点ではありますが、市民検討会では、様々な視点（価値観）に基づく議論が行われてきました。
- ・そのため、絞り込みを行う際には、様々な視点（価値観）を踏まえ、総合的に評価することが望ましいと考えます。
- ・本日のグループワークでは、「公共施設」、「公園」、「まちづくり」の3WGに分かれ、それぞれのWGごとに、パターンを絞り込んでいくための「評価の視点」を整理していきます。（※実現可能性については、全てのWGで検討を行う。）

〈スケジュール〉

- | | | | |
|---------|-----|---|--|
| グループワーク | 45分 | : | 各自、評価の視点の項目出し
各グループ内で整理 |
| 発表・意見交換 | 45分 | : | グループワークの結果を全体で共有
全体での意見交換、有識者協議会委員からのアドバイス
⇒評価の視点の決定 |



- ・下記の表は、第9回市民検討会でお配りした資料になります。
既に記載されている項目から選んでも構いませんし、新たな視点を盛り込んで構いません。

これまでの市民検討会を踏まえた議論のポイント



公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ①活動できるスペースの確保 ②施設間連携などによる新たな魅力の創出 ③居心地の良い空間など新たなニーズへの対応 ④人が集まるアクセスの良さ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤安全・安心の確保 ⑥施設運営の効率化 ⑦施設や設備の老朽化への対応 ⑧公共施設がまちに与える影響・効果 	など
公園	<ul style="list-style-type: none"> ①公園機能の向上 ②公園環境・景観の向上 ③子育て・教育環境の向上 ④公園の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤安全・安心の確保 ⑥防災機能の強化 ⑦公園がまちに与える影響・効果 	など
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ①暮らしやすい居住環境の保全 ②生活利便性の維持、向上 ③まちなみの景観の統一などによる魅力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ④地域のネットワークの形成 ⑤人口減少・超高齢社会など社会的要因への対応 ⑥安全・安心の確保 	など
実現に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ①財源の確保 ②維持管理・運営コスト ③再整備の際の市民サービスの継続 	<ul style="list-style-type: none"> ④建て替え用地の必要性 ⑤跡地、民間活用 	など



第14回市民検討会

- ・本日検討した評価の視点に基づき、各委員により評価作業をしていただいた結果を共有
- ・評価結果等から、今後市民検討会で検討するパターンの絞り込み
- ・パターンのブラッシュアップ（他のパターンから採用できるアイデアを取り込む等）

第13回(本日)
・評価の視点を検討

各委員
による評価

第14回(11月)

- ・評価結果の共有
- ・パターンのブラッシュアップ
(他のパターンから採用できるアイデア等)

第15回(12月)
・まとめ

評価の視点		現在地維持		鹿沼公園中心		図書館敷地中心		公民館敷地中心		公園と図書館折衷案	
		項目評価	総合評価	項目評価	総合評価	項目評価	総合評価	項目評価	総合評価	項目評価	総合評価
公共施設	・新たなニーズへの対応	3	2.3								
	・老朽化への対応	3									
	・～～	1									
公園	・～～	1	1								
	・～～	1									
	・～～	1									
まちづくり	・～～	2	2								
	・～～	2									
	・～～	2									
実現可能性	・～～	3	3								
	・～～	3									
	・～～	3									

【評価シートのイメージ】